



第一礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師 司会：新垣茂美執事

＜巻頭言＞

「日韓のキリスト者の一致と協力を目指して」
牧師 渡真利彦文

前奏			
頌栄	5 4 0	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「御霊によって生きる」 「永遠にあなたと」	〃	
聖書朗読	ヨハネ 8：12-59	司会	
祈禱	(新約聖書 p 181)		
特別賛美		会衆	
賛美	5 3 3	牧師	
説教	「イエスは世の光」		
祈禱		会衆	
賛美	新生 3 0 9		
献金		司会	
報告		会衆	
頌栄	新生 6 7 2 b	牧師	
祝禱			

神の選民であるユダヤ人と異邦人との間には、超えがたい壁があり、敵意すらありました。昔も今も、民族・宗教・言葉の違いをめぐって、対立の壁があります。特に隣の国や近い民族同士で対立や敵意が生まれがちです。聖書の時代では、ユダヤ人とサマリヤ人、現代ではイスラエルとパレスチナ、ギリシャとトルコ、イングランドとスコットランド、ロシアとウクライナなどいくつも挙げられます。そして日本と韓国という、最も身近で関わりの深い隣国同士でも、厳しい対立関係があります。

しかし、私たちキリスト者にとって、すべての土台は聖書のみことばにあります。聖書は、はっきりとキリストの十字架こそ私たちの平和であり、隔ての壁を打ちこわし、ご自分の肉において、敵意を廃棄されたと宣言しています。

私は今まで7回訪韓しました。色々な教会を訪問し、説教したり会議に出て、交わる機会が与えられました。その時私は日韓の歴史を思いめぐらし、まず韓国の方々に日本の植民地支配の罪と日本の教会がそれに協力したことを心から謝罪します。その上で私たちはイエス・キリストにあって一つの神の家族であることと、それぞれの賜物を活かしながら共に世界宣教のために一致・協力しましょうと語ります。

この夏、サミル教会から兄弟姉妹を迎え、ともに伝道します。絶好の伝道の機会です。共に祈り、主の宣教のわざに仕えていきましょう。



第二礼拝次第 (19:00)

説教：渡真利彦文牧師

司会：鈴木静子姉

聖書：ルカ 11：9(新約聖書 p 128)

メッセージ：「探しなさい」

プレイズ：「神の国と神の義を」
「主の前にひざまづき」

讃美：新生 1 0 3 新生 4 9 7



ファミリー礼拝 (9:00)

説教：喜舎場勤子姉

聖書：サムエル記下 18：19-19：1

メッセージ：「良い知らせに悲しむ王ダビデ」